

受 験 番 号					

清和大学入学試験（一般選抜Ⅱ期）問題 注 意 事 項

本問題は以下の教科・科目で構成されている。

教 科 ・ 科 目	試 験 時 間
「英語」・「公民」・「国語」・「小論文」 ※ 上記4科目から 1科目選択 して 解答すること。 ※ 2科目以上解答した場合には、 最も得点の高いもの を判定に用いる。	45分

- 1 試験が終わるまで、監督者の指示に従うこと。
- 2 試験開始の指示があるまで、問題冊子を開いてはいけない。
- 3 落丁、乱丁、印刷不鮮明等の箇所がある場合は、監督者に申し出ること。
- 4 問題冊子の受験番号欄に受験番号、解答用紙2枚 表裏、計4か所に受験番号と氏名をそれぞれ、すべて記入すること。記入漏れは無効となる。
- 5 解答用紙記入上の注意
 - ① 解答用紙は、指定された解答欄に解答を記入すること。それ以外の部分には、何も記入しないこと。
 - ② 解答用紙への記入は黒鉛筆またはシャープ・ペンシルで行い、訂正する場合は、プラスチック消しゴムで消すこと。
 - ③ 解答用紙は、汚したり、破ったりしないこと。
- 6 試験時間中の退室は認めない。
- 7 問題冊子、解答用紙は持ち帰ることができない。

【英語】

次の文章を読んで以下の〔問1〕から〔問8〕に答えなさい。文章の左にある①～④は段落の番号を表している（②と④の最初の文は小見出し）。なお、文末に「語句説明」がある。

① Naturalization (ア) is the process of voluntarily 【 a 】 a United States citizen. Naturalization is the way that a noncitizen not born in the United States voluntarily becomes a U.S. citizen. (イ) The most common path 【 b 】 a lawful permanent resident (LPR) for at least five years. Learn about the steps that lead to U.S. citizenship, including the naturalization test.

② *What are the requirements for U.S. citizenship?*

To be eligible for U.S. citizenship, you must meet certain eligibility requirements. (ウ) These include being:

- At least 18 years old when you apply
- Able to read, write, and speak basic English (depending on age)
- Of good moral character

③ You must also be in one of these categories:

- Lawful permanent resident (Green Card holder) of five years
- Married to a U.S. citizen
- U.S. military service member (active duty or veteran)
- Child of a U.S. citizen

④ *How to apply for U.S. citizenship*

Follow the 10-step naturalization process from the U.S. Citizenship and Immigration Services (USCIS). You will learn:

- If you are eligible for naturalization
- How to fill out Form N-400 to apply for naturalization
- What to do before taking the oath of citizenship (エ)

出典 : US.gov. 'Become a U.S. citizen through naturalization', 'I am a Lawful Permanent Resident of 5 Years', "U.S. citizenship", <https://www.usa.gov/naturalization>. <https://www.uscis.gov/citizenship/learn-about-citizenship/citizenship-and-naturalization/i-am-a-lawful-permanent-resident-of-5-years>. (2024年2月29日最終確認) * 出題の都合上、文章の順序を入れ替えたり、一部省略したりしている。

「語句説明」

Naturalization: 帰化 citizen: 市民

lawful permanent resident (LPR): 合法的永住権保持者 citizenship: 市民権

requirements: 必要条件、資格、要求されるもの

be eligible for ~: ~の資格のある、~の適格性がある eligibility requirements: 条件

the U.S. Citizenship and Immigration Services (USCIS): アメリカ市民権・移民局

oath: 宣誓、誓い

〔問1〕 本文第1段落の空欄【 a 】にあてはまる最も適切なものはどれか。下記の選択肢①～④から1つ選びなさい。

- ① becoming ② become ③ became ④ is becoming

〔問2〕 本文第1段落の下線部（ア）の説明として最も適切なものはどれか。下記の選択肢①～④から1つ選びなさい。

- ① アメリカ人が外国に移住して移民となること
② 生命の危険などから祖国を逃れて外国に移住すること
③ 外国人が本人の希望によりアメリカ国籍を取得すること
④ 外国人が本人の希望によりアメリカの永住権を獲得すること

〔問3〕 本文第1段落の下線部（イ）の文を和訳しなさい。

〔問4〕 本文第1段落の空欄【 b 】に、次の単語を並び替えて入れ、正しい英文を完成させなさい。

[naturalization / being / is / through / U.S. citizenship / to]

〔問5〕 本文第2段落の下線部（ウ）の文を和訳しなさい。

〔問6〕 本文第2段落が示す「アメリカ市民権となるために必要な条件」として誤っているものはどれか。下記の選択肢①～④から1つ選びなさい。

- ① 年齢に応じた基礎英語を読み、書き、話す能力があること
② 道徳的な人格者であること
③ 申請時に18歳以上であること
④ 常識をわきまえ、犯罪歴がないこと

〔問7〕 本文第3段落に4つ挙げられているカテゴリーの中で、帰化申請する人が最も多いのはどれか。下記の選択肢①～④から1つ選びなさい。

- ① 現役または退役の米軍人
② 5年以上の合法的永住権保持者
③ アメリカ市民と結婚している人
④ アメリカ市民の子ども

〔問8〕 本文第4段落の下線部（エ）とは、どういう内容のものだと思うか、あなたの考えを日本語で80字以内で述べなさい。

[英語出題 以上]

【公民】

【1】次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

1914年から1918年まで続いた第一次世界大戦は大規模な多国間戦争であり、その反省に立って戦後の国際社会は戦争の防止と平和の維持を強く願うようになった。そして、アメリカ大統領（A）が提唱した「平和原則14か条」に基づいて1920年に①国際連盟が発足し、集団安全保障や軍縮などによる国際協調の考え方のもと国際平和の実現を目指した。しかし国際連盟は②枢軸国による他国への侵略を止めることができず、第二次世界大戦という多国間戦争へと再び発展することになった。

第二次世界大戦末期に「国際連合（B）」に51か国が署名して、1945年10月に国際連合が発足した。国際連合では③総会を最高決定機関とし、全加盟国の参加のもと議決を行っている。国際社会の平和と安全については安全保障理事会が中心となっており、④常任理事国と⑤非常任理事国によって構成されている。

国際連合は、国際社会の安定のために積極的な役割を果たすことが期待されており、国際紛争などに対しては国連平和維持活動（PKO）を通して紛争後の復興に貢献している。「国際連合（B）」に基づいて国連軍を組織することができるが、現在までに派遣されたことはない。ただし、1990年の（C）によるクウェート侵攻をきっかけに勃発した（D）戦争では、安全保障理事会の決議に基づき、アメリカを中心とした多国籍軍が派遣されたことがある。

日本は多国籍軍を経済的に支援したが、目に見える国際貢献を期待する国際世論の高まりを受けて、戦争終結後に（E）に自衛隊の掃海艇を派遣して、機雷の除去作業に従事して船舶の安全な航行に貢献した。その後、1992年に「国際平和（F）法」（PKO法）が公布され、自衛隊の海外派遣の法的根拠が定められた。

- 問1 空欄Aに当てはまる人物として、正しいものを1つ選び記号で答えなさい。
あ：ウィルソン い：ジョンソン う：フランクリン＝ローズヴェルト え：フーヴァー
- 問2 空欄Bに当てはまる語句として、正しいものを1つ選び記号で答えなさい。
あ：宣言 い：憲章 う：協定 え：規約
- 問3 空欄Cに当てはまる国名として、正しいものを1つ選び記号で答えなさい。
あ：イラン い：イラク う：アフガニスタン え：サウジアラビア
- 問4 空欄Dに当てはまる語句として、正しいものを1つ選び記号で答えなさい。
あ：第4次中東 い：ベトナム う：朝鮮 え：湾岸
- 問5 空欄Eに当てはまる語句として、正しいものを1つ選び記号で答えなさい。
あ：ペルシア湾 い：紅海 う：地中海 え：ソマリア沖
- 問6 空欄Fに当てはまる語句として、正しいものを1つ選び記号で答えなさい。
あ：派遣 い：協力 う：支援 え：貢献
- 問7 下線部①、国際連盟の説明として正しくないものを1つ選び記号で答えなさい。
あ：本部はスイスのジュネーブに置かれた。
い：アメリカ大統領が提唱したにも関わらず、アメリカは国際連盟に加盟しなかった。
う：国際連盟発足時から、日本は一貫して常任理事国を務めた。
え：総会では全会一致の議決方式が取られた。
- 問8 下線部②、枢軸国として正しくないものを1つ選び記号で答えなさい。
あ：ドイツ い：イタリア う：中華民国 え：日本
- 問9 下線部③、総会に関する説明として正しくないものを1つ選び記号で答えなさい。
あ：総会はずべての国連加盟国によって構成されており、加盟国は2023年末現在で193か国である。
い：最も新しい加盟国は、アフリカの南スーダン共和国である。
う：総会はずべての国連加盟国が、大国小国を問わず1国1票で議決を行う。
え：議決方式として全会一致の原則を取っており、加盟国は粘り強く話し合いを重ねる。
- 問10 下線部④、常任理事国のみが有する、決議案の採択を阻止する権限を何と呼ぶか。
- 問11 下線部⑤、非常任理事国の説明として正しくないものを1つ選び記号で答えなさい。
あ：安全保障理事会は常任理事国5か国と非常任理事国10か国からなる。
い：任期の定めがない常任理事国に対して、非常任理事国の任期は2年間である。
う：日本は現在12回目の非常任理事国を務めており、全加盟国中最多となっている。
え：安全保障理事会の運営を安定させるため、非常任理事国の廃止が検討されている。

【2】次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

私たちは消費者として、生産者から食料品や衣料品などを購入して生活している。ただ、それらの品々がどのような材料からどのような工程で生産されているのか、品質管理や流過程などについてはよく知らないことが多い。生産者と消費者では持つ情報量が非対称となる現実がある。また、①消費者はテレビコマーシャルや広告などによる商品の情報や説明に影響を受けやすいことも指摘されている。

そのために消費者の保護は不可欠であり、古くは1962年にアメリカ大統領（A）が提唱した②「消費者の4つの権利」が知られている。日本でも1960年代以降消費者問題が社会的課題となり、1968年には消費者保護に関する法律が制定されるなど、消費者の権利の擁護が進んだ。現在では、例えば割賦販売法及び特定商取引法では、③消費者が締結した契約について一定期間内であれば無条件に書面による契約の解除ができることが認められている。また、④製造物責任法に基づき、製品に欠陥があった場合には消費者は生産者に対して賠償請求を行うことができるようになっている。

現在では、消費者の権利は2004年に制定された「消費者（B）法」によって広く保護されている。また、縦割り行政の中で消費者の保護が十分でなかったことから、2009年には⑤消費者庁が設けられて消費者行政の一本化が図られた。

あわせて、消費者の立場から生産者に発信していく取り組みもなされており、会員の意見を生産者に届け商品開発につなげる⑥「生協」が代表的である。近年では、⑦消費者が環境への配慮がなされているなどの基準から生産者を選択する流れも生まれており、生産者には消費者のニーズを踏まえた生産が一層期待される。

- 問1 空欄Aに当てはまる人物として、正しいものを1つ選び記号で答えなさい。
あ：ケネディ い：レーガン う：ニクソン え：クリントン
- 問2 空欄Bに当てはまる語句として、正しいものを1つ選び記号で答えなさい。
あ：保護 い：擁護 う：基本 え：対策
- 問3 下線部①、このような効果を何と呼ぶか、正しいものを1つ選び記号で答えなさい。
あ：コンシューマー効果 い：アドバタイジング効果
う：デモンストレーション効果 え：コマーシャル効果
- 問4 下線部②、「消費者の4つの権利」に該当しないものはどれか、1つ選び記号で答えなさい。
あ：知らされる権利 い：意見を反映させる権利
う：選択する権利 え：消費者被害を救済される権利
- 問5 下線部③、割賦販売法及び特定商取引法では、消費者が締結した契約について一定期間内であれば無条件に書面による契約の解除ができることを認めている。この制度を何というか、1つ選び記号で答えなさい。
あ：クリーニング・オフ い：クーリング・オフ
う：クリーニング・アウト え：クーリング・アウト
- 問6 下線部④について、次の問いに答えなさい。
[1] 製造物責任法の略称として用いられる「〇〇法」に当てはまるアルファベット2字を答えなさい。
[2] 製造物責任法に関する説明として最も正しいものを1つ選び番号で答えなさい。
あ：不動産やサービスに関する被害についても救済の対象とされている。
い：被害者が損害賠償を求めるとは、製品の欠陥について製造業者の故意や過失があったことを立証しなければならない。
う：損害賠償を認められた商品を販売した小売業者も、例外なく損害賠償責任を負う。
え：製造業者は、製品の欠陥が出荷時点での科学技術水準で予測不可能だったことを立証できれば損害賠償責任を負わない。
- 問7 下線部⑤について、次の問いに答えなさい。
[1] 消費者庁が属する府または省として正しいものはどれか、1つ選び記号で答えなさい。
あ：経済産業省 い：財務省 う：国土交通省 え：内閣府
[2] 消費者庁が所管する独立行政法人であり、消費者問題に取り組む機関として正しいものはどれか、1つ選び記号で答えなさい。
あ：地方生活センター い：国民生活センター
う：消費者行政センター え：消費者保護センター
- 問8 下線部⑥、「生協」の正しい表記はどれか、1つ選び記号で答えなさい。
あ：生涯協同組合 い：生涯協同連合 う：生活協同組合 え：生活協同連合
- 問9 下線部⑦、このような消費のあり方を何と呼ぶか、1つ選び記号で答えなさい。
あ：エシカル消費 い：エコロジー消費 う：エコノミー消費 え：エピック消費

【小論文】

次の新聞記事を読んだうえで、「中学校の校則」について、400字以内で、あなたの見解を述べなさい。

X中学校で、生徒が主体となって見直した校則が10月から運用されている。禁止されていたジャンパーの着用を認めたり、衣替えの時期を自由にしたりするなど、明確な理由がない校則を改めた。学校側も、生徒の自主性を育むという教育的な面での効果を期待している。

今月7日午後、下校時間に生徒らは教室前のラックに掛けていたジャンパーを取って着用した。以前の校則では、登下校時にコートを着ることができたが、ジャンパーは認められていなかった。禁止している理由が不明なため、今回の見直しによって着用が認められた。ジャンパーを着て通学した3年生のAさん(15)は「去年の登下校中はとても寒かったけれど、校則が変わって暖かく通学できている」と話す。同校によると、変更する前の校則では、衣替えの期間が決まっていたり、膝掛けや整髪料の使用が禁止されたりしていた。

校則を見直すきっかけとなったのは、生徒指導を行う際の手引書「生徒指導提要」を文部科学省が2022年に改定したことだった。同省は、校則を学校のホームページなどで公開し、必要な規則かどうかを見直すように促した。「文部科学省も校則の見直しを後押ししている今がチャンスだ。」校則に不合理な部分があると感じていた校長(61)は見直しを決めた。同校では昨年、生徒会が主体となって5日間、私服で登校する試み「カジュアルウィーク」を行っており、見直しも生徒会でできると判断した。校長は今年6月、前期生徒会長で3年生のB君(15)に、校則の変更を提案。B君は「この大きな仕事をやり遂げよう」と意気込んだ。B君は副会長のAさんと2人で、全校生徒に説明する内容の打ち合わせを開始。それと同時に、生徒会や各学年の学級委員長などで構成する校則検討委員会もつくった。まずは、検討委員会で意見の集約方法などを決めた。7月には、各クラスで校則の意義について考えたり、見直しが必要な内容を話し合ったりした。検討委員会は各クラスで出た意見をまとめ、案として担当教員に報告。その中には、「体操着のシャツはズボンから出してもよい」や「制汗剤は無臭のもののみ許可」などがあつた。その後、教員らが提出された案を精査。不必要と判断した案を除き、体操服の着方やジャンパーなどの上着の保管方法について、再び検討委員会で話し合うように指示した。検討委員会は、上着はハンガーを持参し、ラックに掛けて保管することや、体操着のシャツ出しは、気温などの条件付きで認めることとし、再び教員に提出。校長や教員らで確認し、10月10日、校長が校則案を承認し、同月16日から新校則が運用された。Aさんは「意見をまとめるのが難しかったけれど、うまくお互いを納得させて、校則ができたので良かった。」と話し、B君は「みんながジャンパーを着て登校する姿を見ると、校則を変えて良かったと実感する。」と笑顔を見せた。

校則の見直しは都内各地で進んでいる。Y中学校は、昨年度に生徒会が主体となって検討を始め、今年4月に新たな校則が運用された。靴下やワイシャツの中に着る肌着は白色だけが認められていたが、黒や紺も着用可能にするなどの変更を行った。

区立学校の校則見直しに関する手引を2021年に作成したのは東京都Z区教育委員会。児童や生徒が校則の意義を考える機会をつくるために学級活動などで話し合うことなどを記載している。同区教育委員会によると、同区内の小中学校35校全てで見直しが行われているという。

<出典> 読売新聞 2023年12月26日朝刊

※ ただし、文章の一部に改変等を行っている。

問一 傍線部 (a) の漢字の読みを書きなさい。

問二 傍線部 (1) のカタカナを漢字に直したとき最も適切なものをそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

- (1) ア 退寺 ウ 胎児 エ 退治 オ 対峙
- (2) ア 過程 ウ 家庭 エ 課程
- (3) ア 大体 ウ 大隊 エ 大腿
- (4) ア 更生 ウ 公正 エ 構成
- (5) ア 対抗 ウ 対向 エ 退行
- (6) ア 後見 ウ 高樞 エ 貢献 オ 公権

問三 波線部ア～エの「こと」のうち、「異」といふ漢字で表すことができるものの組み合わせを一つ選び、番号で答えなさい。

- (1) アとイ (2) ウとエ (3) アとエ (4) イとウ

問四 二重傍線部「世襲」の意味として最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 親から継承した財産の有無で地位が決まること。
- イ 投票によって地位が決まること。
- ウ 地位を子孫が代々継承すること。
- エ 収入額によって地位が左右されること。

問五 (A) にあてはまる最も適切な語を一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 政治家 イ 官僚 ウ 国王 エ 庶民

問六 (B) に共通してあてはまる最も適切な語を一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 消費 イ 提供 ウ 需要 エ 供給

問七 (C) にあてはまる最も適切な語を一つ選び、記号で答えなさい。

- ア それゆえに イ つまり ウ しかし エ あるいは

問八 本文の内容と一致するものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 古代ギリシアでは、ポリスから独立の個人と、その権利と自由の思想で満ちあふれていた。
- イ 徳としての自由と徳を備える人々の民主主義という戦略は、現代においてほぼ意味をなさない。
- ウ アテナイの政治はニアと市民ではいづれが人間として本質的か、という問いに意味がある。
- エ 行政の目的や手段の選択においてどの専門家の意見を聞くかの決定は、民主主義を通して国民が行うものである。

問九 本文中で、筆者は、国家という社会体の中で政府の役割についてどのように位置づけているか。そのことを最も具体的に示す一文の最初の五文字を書きなさい。

ただここで、この場合の「すぐれた者」が、何においてそうなのか、という点には注意が必要である。国民全体の統治という意味のガヴァメントとは区別される、政府機関という意味でのガヴァメントは、公務員たちを④「コラプティヴ」として一定の目的をもった一つの事業共同体または事業組織である。組織暴力団と⑤「タイコラプティヴ」する時の警察はそれ自身が一つの組織であるし、軍隊や消防署、郵便なども、はつきりとした目的をもつ、かなり排他的な「統一体」である。この種の事業組織がそれぞれの組織的目的を達成するにあたって、それに⑥「コラプティヴ」する個人の能力に差があるのを前提にせねばならないのは当然である。公務員を採用する際に試験が課されたりするのは、主にこの能力を問っているのである。この側面に着目して、「すぐれた者の支配」を問題にするなら、それはほぼ「A」支配と同じ意味になるだろう。サンシモンなどの描く、合理化された国家のイメージは、この種の貴族制（「科学的」な知において卓越するものの支配）に接近する。国民の全体を、この種の事業共同体の中に取り込み、国家事業としての一定の目的の追及を志向するような国家観は、特に戦時などには現実性をもつ。それにタイコラプティヴ、もう一つの、しかしこの論考との関連では、それも満足なものとはいえない発想は、民主主義の「B」者モデルでもいえるものである。

行政の専門家たちが確かにもっている能力は、事前に与えられている個々の目的の組織的追及に偏った能力であるから、専門家たちによって供給される様々な行政サービスを受け手または「B」者として、国民が、議会または選挙を通して意思の表示によってこの供給をコントロールすることは、必要であるし、一定の限度で可能でもある。この場合、混合政体において官僚的貴族制とも一方の極をなす民衆支配に要求される知は、「賢い」「B」者としてのそれである、といってよいかもしれない。行政に外部からかわり、それに注文を出すとともに、それから説明を受けて行政上の要求にも応じ、という議会の性質は、イギリスやフランスの絶対王制下の議会において、より明快に示されるが、議会というものは、もともとここから出発したのである。市場における財の供給においては、一般に供給者のほう「B」者よりも専門家であって、その意味で「知者」であるが、その知は「B」者主権に服する。「B」者は、自分で財の供給の知識を持たなくとも、複数の供給者間の競争によって、自分の希望をよりよく実現する商品が登場すると期待でき、この競争においては、「B」者の嗜好は、前提であるとともに目的となるという意味で、権威において優越するのである。サービスの供給者の側で、その嗜好を養えようと試みること（マーケティング）は許されているが、それに応じる義務が「B」者の側にあるわけではない。この種の市場的モデルで民主主義を捉えることによって、プロパグンダの挑戦に対する一定の解答も用意できるかもしれない。専門家のもつ知は、普通一義的に正しい解答をわたらすものではなく、専門家の中でも意見を⑦「C」にするのが一般である。それ以上に専門家を何々として設定すべきか自体を選択する上での知を、一般人以上にもっているわけではない。それゆえ、その目的の設定と実現のカナエでの手段選択においてどの専門家の意見を聞くかの決定は、民主主義を通して国民が行うのだ、というわけである。若干戯画化されているかもしれないが、ここにあるのは、現代において支配的な一つの民主主義像であるように思われる。

「C」者、社交体としての国家にかかわる能力において「すぐれた者」は、これと⑧「C」者として、政府組織はこの社交体の一つの部分にすぎず対内的には事業組織であつても、その外にはそれと別の事業を目的にする他の組織や個人が多数存在する。それらの全体が社交体をコラプティヴするが、政府はその中で、強制力をもってこの社交体の条件の維持にあたることを主目的にする、特に異で独占的ではあるが、一つの組織にすぎない。社交体としての国家を成立させている条件またはルールは、政府組織を含む全体に妥当する「法」の確認や修正としての本来の「立法」によって、明示される。この部分においてこそ、民主主義が問題とされねばならないのである。

出典：嶋津格 間としての「正しき」―法尊の挑戦―。ただし、出題の都合上、一部省略 改変した箇所がある。

《語句説明》※1 ポリス 都市国家。 ※2 ポリテイア 国のあり方。 ※3 プモクランテイア 民衆支配。民権

【国語】

次の文章を読んで、設問に答えなさい。なお、※印の付いた語句は、文末に《語句説明》がある。

古代ギリシヤ、特にアテナイは、民主主義発祥の地であつて、その一定の期間にわたる成功がいかなる条件に依存していったにせよ、ある種の民主主義の実行可能性を現実に見せること、以後の政治思想の想像力に決定的な影響を及ぼした。しかし、テュキディデスの『戦史』の中のペリクレス演説など、簡単なものを除いて、そこで実際に民主主義を運営した人々自身の書いた民主主義（2）《擁護論》でわれわれが読めるものは、ほとんど残されていない。むしろそこでは、アテナイの政治体制に対する批判として、もつとも首尾一貫した反民主主義論が生み出されたのであつて、後の思想への影響力からすれば、民主主義の擁護論よりも批判論のほうが大きかつたときえいである。この反民主主義論の陣営のチャピオベトもいろいろきつまつが行つた民主主義批判は、政治における知の問題を徹底的に問うことを基本戦略としている。

古代ギリシヤに欠けていたものは、ポリス（※1）から独立の個人と、その権利と自由の思想だといわれ、アテナイの「自由人」たちにとつては、ポリス生活こそが人生の関心事なのであつて、人はそこで生きて死ぬ。われわれからみれば彼らは、一種の政治ゲニアたちであつて、ポリスから切り離された個人の精神と生活の中に本質的な価値があるとは考えなかつた。後者のような発想は、社会を含む宇宙全体（3）の秩序と個人を（1）《タイジシス》、ヘレニズム期以降のストア派などの思想に初めてみられる。そしてそのようなギリシヤ起源の思想とキリスト教とが融合すること、本格的な西欧的個人主義思想の基礎ができたのである。この理解も、どの程度歴史の記述として正しいかは別にして、民主主義のタイポロジイという文脈で、（5）《便宜的に前提しておく（2）こと》にしよう。

古代ギリシヤの民主主義においては、ポリスの一員としての徳が語られ、その高徳な人々が牽揮する公共精神とゲニアに（3）《依拠》して、民主主義は墮落から（4）《免れる》ことが期待された。徳としての自由と、そのような徳を備える人々の民主主義という戦略は、決して現代においても意味がなくなつたわけではない。社会の制度は、つねに究極的にはそれを運営する人々の自発的な行動規制に依拠している現代の民主主義も、政治家・官僚・ジャーナリストそして選挙民たちの自発的な行動規制を離れて、健全に機能するものではありえない。しかし現代のわれわれが、個人の徳にすべてを（6）《委ねる》ことができなこともまた明らかである。そこで、この過剰な政治的権力の制限を果たすべきものとして登場するのが、「個人の権利」の概念なのである。

混合政体とは、庶民としてのデモスの支配と貴族の支配との混合という意味であるが、この場合に何を貴族と考えるかで、異なる政治の像が浮かび上がる。原義における貴族（アリストス）よき者、立派な者、勇気ある者という点で最高の者）とは、世襲によつて決まる支配階級の（7）《こと》ではなく、すぐれた者たちという意味である。アリストテレスはほぼこの原義とおりの意味で貴族を考え、ポリテイヤ（※2）もテモクراطية（※3）もこの意味の貴族制を部分として含んでおり、両者の差は程度問題だ、と論じた。また自分自身も階級として没落の（2）《カタイニ》にあるフランスの貴族であつたトクヴィルは、将来フランスの民主主義が成功するにはフランスの貴族が果たすべき役割があるのだと考えたが、彼はさらに、一八三〇年代のアメリカ民主主義に接してそれを高く評価しながら、そこで法学家たちが果たしている役割を、フランスにおける貴族のそれに（3）《タイタニ》するものとして理解したのである。また、マクインにあつては、間接民主主義および独特のアメリカ大統領の間接選挙の制度は、人々がすぐれた者と考える者を代表として選んで、それに統治を委ねる制度であるから、庶民の知的・道徳的レベルを直接反映する場合よりも高い政治の水準を可能にするのだ、と考えられたのである。もちろんこれらはずべて、プラトン以来の、庶民の政治能力に対する（4）《懐疑》を前提にするものである。

